

(抄訳)

**AIG は、米国財務省による 76 億ドルの  
AIG 普通株式の売出しが完了したことを発表**

**米国政府による AIG への公的支援は全て解消**

ニューヨーク、2012 年 12 月 14 日－アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄：AIG）（「AIG」）は、本日、米国財務省による AIG 普通株式約 2.342 億株の売出しが完了したことを発表しました。米国財務省は、本売出しにより、約 76 億ドルの収益を得ました。当該株式は米国財務省が保有する残り全ての AIG 株式であり、当該株式の売出しにより米国政府による AIG への公的支援は全て解消されました。

AIG のプレジデント兼 CEO であるロバート・H・ベンモシエは、以下のように述べました。

「今日から正式に AIG の新たな章が始まります。我々は、アメリカが AIG に対して行った投資全ての返済に加え、アメリカに実質的な利益をもたらしたことを誇りに思い、このようなチャンスを与えられたことに大変感謝しております。アメリカに感謝して、明日へ挑みたいと思います。」

2008 年 9 月以降、米国は、金融危機の間に AIG を安定させることに関連して、合計 1,823 億ドルを投じました。それ以降、AIG、連邦準備銀行および米国財務省による資産の売却およびその他の措置により、米国政府は、1,823 億ドル全額を回収し、更に合計 227 億ドルのプラスの収益を獲得しました。2011 年 5 月から、米国財務省は 6 回にわたる売出しを通じて、AIG 普通株式約 17 億株の売却を成功させ、合計約 510 億ドルの収益を得ました（当該収益には AIG の購入による 130 億ドルが含まれる。）。米国財務省は、AIG 普通株式約 270 万株を購入するためのワラントを保有し続けます。かかるワラントを売却した場合、米国納税者に追加でプラスの収益がもたらされる見込みです。

# # #